

8月中の人口のうごき

世帯数	8,506世帯
総人口	39,111人
男	19,585人
女	19,526人
出生	22人
死亡	9人
転入	89人
転出	113人
男女計	52人
男女計	19人
男女計	82人
男女計	75人
男女計	171人
男女計	188人

広報るもい

発行所
留萌市役所
電話(代)270番
編集人
総務課長 青山喜三郎
留萌市幸町三丁目
印刷所 金子印刷所
(毎月1回 1日発行)



赤い羽根共同募金

留萌の街に不幸な人が一人もいない明るい幸福な社会をつくることは市民の互いの切なる願いではないでしょうか。

現在留萌には働き手がなく、やむなく生活保護を受けている家庭や、どうか働けてもその収入だけではどうにも子供を学校へ通はせられない家庭、住宅費はどろいでも出せない家庭、それに家族中に病人があつてもそれを療養させて行くだけの能力のない家庭、こういった本当に気の毒な家庭が二四六世帯もあり、さらに一歩まちがえばこれらの保護を必要とするであろうと思はれる苦しい家庭が相当居られるのです。

留萌市のこういつた不幸な人々に対して毎年、国や道や市費で生活保護や教育住宅、医療などの扶助をするために巨額な支出をしておりますが、本年はこのお金が三五〇〇万円にもなるだろうと思はれております。

しかしこの世の中をよくするために、保護世帯更生事業に使われます。

この金は、生活保護、児童福祉、遺族福祉、母子福祉、身体障害者福祉、生活改善、保護衛生の向上などのために使われます。

2 留萌市民生委員会に四万円を配分する

3 北海道共同募金会に二十一万三千円を配分する

4 共同募金市支会に九万円を配分する

5 戸別及び大口募金三催し物収益、その他四十二万円

6 合計して五十四万三千円

7 二、このお金のほか、一、留萌市社会福祉協議会に二十万円を配分する

この金は、生活保護、児童福祉、遺族福祉、母子福祉、身体障害者福祉、生活改善、保護衛生の向上などのために使われます。

2 留萌市民生委員会に四万円を配分する

3 北海道共同募金会に二十一万三千円を配分する

4 共同募金市支会に九万円を配分する

5 戸別及び大口募金三催し物収益、その他四十二万円

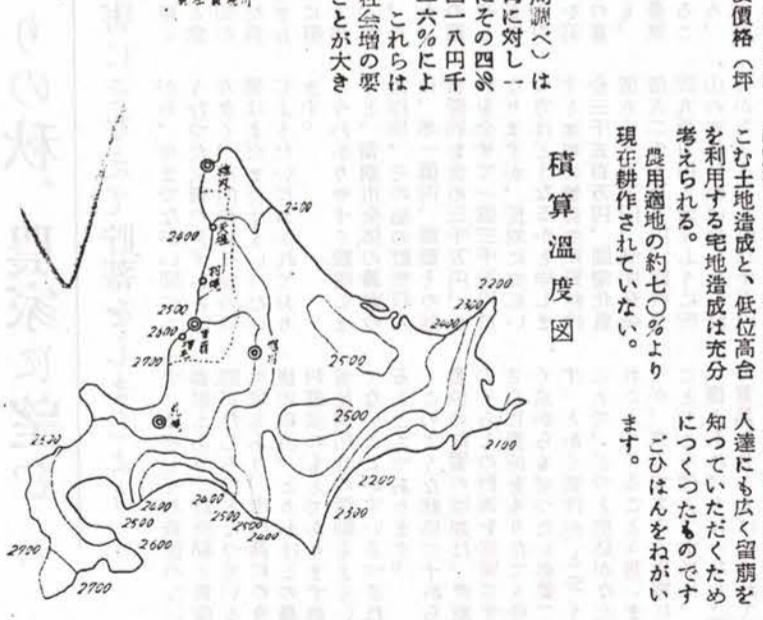
6 合計して五十四万三千円

7 二、このお金のほか、一、留萌市社会福祉協議会に二十万円を配分する

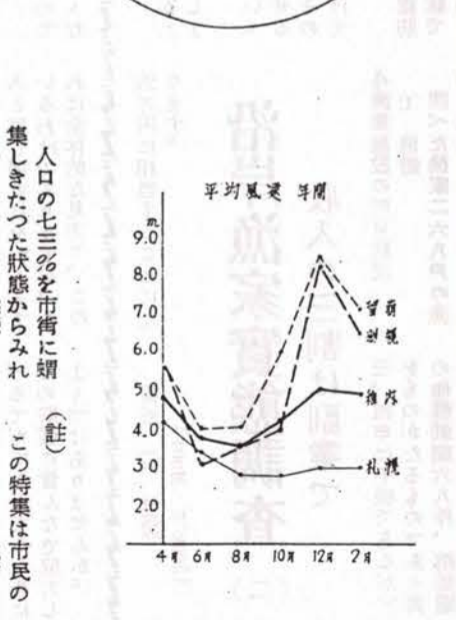
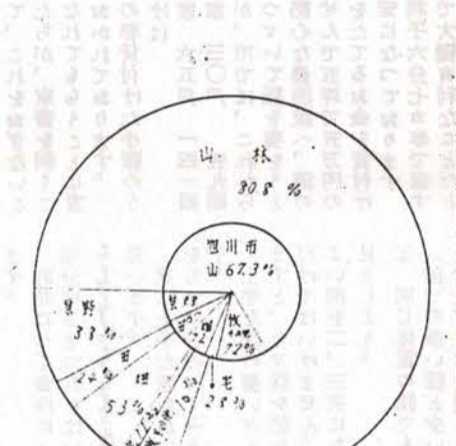
グラフみる 留萌 ① 土地と気象

高台が中央を迂曲して流れ、留萌川に沿って両岸の狭い平地に迫って耕地を少くしているからだが、川口にある市街に近くにつれ、幅広い平地に展開、留萌港とそれをかこむ市街を形づくっている。

気象は海洋性で年間平均気温は七、一〇(三一年)札幌(七、七〇)とほとんど同じであるが、風は強く



終戦と共に文字通り北の國境線となつた北海道、その日本海に面した西海岸、に留萌港は位置している。面積は二九五平方キロで、札幌や三笠のまちとは同じであるが土地の約九割が山林原野で、田畑の比率も全道平均一〇、四%に對し七、七%と少い。これは山林の大部分を占める段丘性



積算温度図

人口の七三%を市街に集めた状態からみれば、将来にそなえて港灣をかこむ土地造成と、低位高台を利用する宅地造成は充分考えられる。

農用適地の約七〇%より現在耕作されていない。

この特集は市民の人はもちろん地方の人達にも広く留萌を知っていただくためにつくつたもので、ごひはんをねがいします。

昭和三十三年度 留萌市文化賞授賞候補者の推せんについて

文化賞は留萌市の文化(藝術、教育、科学)の發達に貢献したことが著しいと認められる個人及び団体に授與されます。

授與式は文化の日を期して、留萌市役所で行われる予定です。候補者の推せん書を受け付けて居りますので、十月十日までに市教育委員会(〒四二二)へ提出して下さい。

なお推せん書についての詳細は市教委へお問合せ下さい。

躍進する北海道の港灣

新しい時代—新しい構想

運輸省港灣局長 天竺良吉

一、日本経済の躍進と新長期経済計画を昨年決定して日本国民の目指すべき目標を示したの膨張はまことに目ざましいものがあります。経済生長のテンポは昭和二十七年から昭和三十一年までの五カ年間に年平均九%の割合を示しました。このような目ざましい経済的發展は世界にもあまり例のないもので、政府はこのような状況に、目標を達成するには生産の擴大をしなければならぬと、将来の推移を豫

せん。生産を擴大するには資源の乏しい日本として貿易の依存度を高めてゆかなければなりません。資源らしい資源に恵まれていない日本にとっては、豊富な資源に恵まれた北海道こそまさにかけがえのない希望であるといえます。

とりわけ産業の原動力である石炭において北海道は日本の全埋蔵の半ばを占めております。ようやく老令期にはいつた九州炭に逐次交代してゆく傾向を示しています。

森林資源においては北海道は全道埋蔵量の約三分の一を占めております。原木のまゝあるいはパルプ紙、輸送貨物が主として原料である以上海運によるこ

となつて盛んに本州に積出されております。また北海道の近海は豊富な水産資源に恵まれ、鮮魚や加工製品として盛んに内地市場に送られております。このほかにもいろいろなものが生産されておりますが、要するに北海道は原料の供給源として日本経済に寄與してまいります。

三、重責を荷う北海道の港灣

以上北海道の重要性を述べましたが、日本経済が擴大し生産が膨張すれば北海道からの原材料の輸送に、道からの原材の輸送に、つそう拍車がかられることとは明らかであります。

輸送貨物が主として原料である以上海運によるこ

とは勿論で、その点北海道の港灣の責務は大きいといわねばなりません。

四、新たな構想で出發する北海道の港灣

(第二次五カ年計画)

運輸省ではさきに昭和三十一年から昭和三十五年にかけての北海道港灣整備五カ年計画をたて、港灣改修の事業を鋭意推進してまいりました。この計画では昭和三十五年度の港灣貨物の取扱量を二六五〇万屯と想定し、これに要する港灣改修事業費として一六三億を計上してありますが、最近数年間の貨物の伸びは急激で、昭和三十二年には既に計画目標の二六〇〇万屯に達してしまつてまいりました。

このような状況にたいして当局では、昭和三十三年より昭和三十七年にかけての全道港灣整備計画の策定にあたり、北海道の港灣貨物量を計画の最終年度三十七年度において三五五〇万屯と想定しました。この改修事業費は總額で二七〇億にのぼる見込です。

私は北海道の港灣が、今後荷う任務の重要性を考慮して、新たな観点に立って、新たな構想のもとに再出發しなければならぬものと考えております。

註 留萌港に対する想定貨物量は三十七年度一六〇万屯、三十八年度一八〇万屯となつており、昨年待望の一〇〇万屯積揚げを見ました。